

重点施策に基づく主要な事業一覧 (★新規事業) (単位:千円)

効率的行政運営(下田市集中改革プラン)の推進

事業名	事業費
総務費 電算処理総務事業(クライアントサーバシステムの運用)	37,854
衛生費 ごみ処理手数料事務(指定ごみ袋販売事務委託等)	13,766
土木費 市営住宅解体工事	3,000

観光施設及び観光資源の有効活用の推進

事業名	事業費	
農林水産費 花のまち下田推進事業(花協議会苗配布等)	1,365	
商工費	観光総務事務 黒船祭執行会補助金、夏期海岸対策協議会補助金等)	18,501
	観光振興総務事務(下田市観光協会補助金等)	19,203
	外ヶ岡交流館管理運営事業(指定管理料等)	19,405

地域産業経済活性化への支援

事業名	事業費	
総務費 地域振興事業(地域振興用資材、自主運行バス事業補助金等)	10,349	
農林水産費	中山間地域直接支払事業(中山間地域等直接支払交付金等)	5,955
	林業振興事業(間伐事業等補助金、有害獣被害対策事業補助金等)	3,077
	水産振興事業(浅海漁業振興対策事業補助金等)	2,521
商工費 商工業振興事業(小規模事業指導費補助金等)	6,483	

少子・高齢社会に対応した福祉及び文化的サービスの充実

事業名	事業費	
民生費	知的障害者(児)施設等対策事業(伊豆つくし施設整備補助等)	33,868
	在宅児童看護事業 乳幼児医療費等)	34,642
	児童扶養手当支給事業	100,143
衛生費	児童手当支給事業(うち乳幼児加算の創設分 18,005千円)	151,718
	老人保健事業(健康診査委託等)	45,688
教育費	後期高齢者医療事業(広域連合制度準備)	6,016
	市史編さん事業(原始古代中世資料編刊行経費等)	7,617

市民生活に直結した環境整備及び防災対策事業の推進

事業名	事業費	
総務費 地域防災対策総務事務(同報・行政無線、災害用備蓄品等)	12,681	
衛生費	生ごみ減量・資源化推進事業(家庭用生ごみ処理機器購入費補助等)	1,300
	焼却炉改良事業(改良工事費等)	360,000
農林水産費	市営治山事業(上大沢地区)	8,010
	須崎漁港水産基盤整備事業(第一岸壁)	77,189
	白浜漁港(板戸地区)水産基盤整備事業(物揚場提体ブロック製作・据付)	24,067
	須崎漁港小規模局部改良事業(船揚場)	8,033
	災害対策緊急海岸整備モデル事業(外浦漁港陸岸新設)	17,304
土木費	新構想高校周辺地域交通環境整備事業(市道安全対策工事)	3,000
	景観計画策定推進事業(景観計画策定委託等)	3,364
	急傾斜地対策事業(崩壊対策事業負担金5箇所)	10,000
消防費	消防団活動推進事業	41,799
	賀茂支部消防査閲大会、静岡県消防査閲大会事業	3,508

第8次教育施設整備5ヵ年計画の推進

事業名	事業費
放課後子ども教室推進事業(実行委員会推進)	446
特別支援教育体制推進事業(軽度発達障害児童相談支援)	1,138
小学校教育振興事業(小学校教育用パソコン購入等)	8,828
中学校教育振興事業(機器借上、備品購入等)	7,583
生徒支援事業(生徒通学費補助、重要保護生徒就学援助)	9,472
吉佐美運動公園整備事業(駐車場整備工事)	1,500

特別会計の改良事業等

事業名	事業費	
下水道事業特別会計	下水道幹線管渠築造事業(中地区)	53,887
	下田浄化センター等更新事業(処理施設機器改築診断業務委託等)	29,183
水道事業会計	配水管改良事業(東本郷・中・外浦・吉佐美地区)	120,600
	耐震補強事業(落合浄水場耐震補強工事)	104,000
	第6次拡張事業(須原地区配水管布設)	45,000

止等、要保護児童への適切な対応を図るため、要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関との連携による取組を強化するとともに、「配偶者からの暴力(DV)への適正対応に努め、DV被害者の自立のための支援を積極的に進めず。

社会福祉法人伊豆つくし会による知的障害者(児)入所施設等の整備事業の円滑な進捗について、関係機関等と緊密に連携した取り組みを進めます。

生活保護の実施では、「就労支援プログラム実施要領」を制定し自立更生を図ります。また、本年度より導入される、長期生活支援資金貸付制度(リバースモーゲージ)の利用を優先させ、生活保護実施の適正化に努めます。

地域包括支援センターの指定介護予防支援事業所としての体制強化を図り、介護保険の要支援認定者に対するケアプラン作成の充実、高齢者に対する総合相談や権利擁護などの地域支援事業にも取り組んでいきます。

健やかなまちづくり
予防医療を充実し、早期発



下田北高周辺の通学時の様子

見・早期治療、医療費の適正化に努め、国民健康保険事業の健全化に努めます。

市民の安心づくり
東海地震に備え、防災関係機関、港湾関係機関及び市内48の自主防災会との連携を強化し、児童、生徒との協働訓練を進め、より実効性のある訓練に取り組んでいきます。

防災対策として、市内5箇所急傾斜地崩壊対策を実施し、さらに、倒壊の危険性の高い住宅で補強工事を行う場合は、県の補助制度である「TOUKAI」事業に基づき助成を行います。

平成20年に開校する新構想高校周辺の交通環境では、歩行者優先と環境保全を重視し、地域の生活環境、通学環境の改善を進めていきます。

「人づくり」と「豊かな交流」を創出するまち
新しい第1次産業づくり
前年度に下田市遊休農地対策協議会を設置し、アンケート調査を実施しました。この結果を踏まえ、関係団体の協力を得ながら遊休農地の拡大防止と解消に努めます。

築磯漁場の活用を図りつつ、稚貝放流等の種苗放流事業を助成し、地場の水産物を中心にした消費拡大を図っていきます。

基盤整備事業では、須崎漁港水産基盤整備事業、白浜漁港(板戸地区)水産基盤整備事業等を実施します。

訪れたいまちづくり
美しい海をキーワードにした「海洋浴の郷・下田」のイメージを定着させ、長期滞在型の観光地をめざし、交流客の増加を図るため、官民一体となり、組織的に推進していきます。

市街地に数多く存在する歴史的建造物の保存を目指し、まちあるきの素材としても有効に活用していきます。中心市街地の商店街には、温泉を利用した足湯や花のハンギングバスケットの設置支援によ



花で飾られたハンギングバスケット通り

り、多彩なまちあるきルートが確立し、「歩いて楽しいまち」をテーマに商店街の活性化につなげていきます。

道の駅「開国下田みなと」については、指定管理者制度の導入により、情報センターとしての機能の充実を図っていきます。

まちの活力づくり
歴史や文化、港を感じ、快適な暮らしと人の集いがあるまちの未来像のもと、歴史資源を活かしながら、人できわつ市街地を形成するとともに、防災力を向上させ安心して暮らせる住環境を形成することを目標とし、市民との協働を図りながら市中心部の市街地のあり方を検討していきます。

公債費
市債(市の借入金)の元利償還金などを支払ったための経費。

キャップ方式
「義務的経費」や「政策的新規事業費」など経費ごとの年間必要額をあらかじめ設定し、設定された枠の中で重要度の高い事業に優先配分する予算編成の方法。

P D C A サイクル
計画(Plan)を実行(Do)、評価(Check)し改善(Action)に結びつけ、その結果を次の計画に活かすというサイクルを繰り返しながら、継続的な改善を行うこと。

指定管理者制度
公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、平成15年6月の地方自治法改正により創設されたもの。

海洋浴
海の恵みを取り入れた健康づくり法で、身体に潮風を浴びることでミネラル分を吸収し、新陳代謝が高まり、リラックスさせる効果があるとされています。

用語メモ